

議事録

日 時	令和7年1月20日（月）	時 間	14：00～16：00
場 所	千葉県企業局 幕張庁舎2階 特別会議室 （web 会議併用）	出席者	（懇話会メンバー）鎌田座長、小松崎副座長 外11名 （企業局）三神局長、渡邊水道部長、松宮水道部次長、密本水道部次長、望月計画課長、木下浄水課副課長、大野木給水課長、関係職員、事務局職員
議事名	第8回おいしい水懇話会		
○開会 ○懇話会の公開について ○配付資料の確認 ○懇話会メンバー、局職員紹介 ○企業局長挨拶 ○座長挨拶 ○議題1 技術的な取組 資料(p.1-2)により、「残留塩素の低減化」について事務局から説明。 ○議題2 お客様との取組 資料(p.3-7)により、「水質検査体験」について事務局から説明。 資料(p.8-9)により、「イベント」について事務局から説明。 主な意見、質疑は以下のとおり。 （小松崎副座長）資料7ページに「不安がある理由」として10項目書いてある。これは選択肢を示した上で選んでもらうものなのか。 （企業局）そのとおりである。 （小松崎副座長）「その他」を選んだ場合に自由記述してもらい、その中に、PFASについての言及があったということでよいか。 （企業局）そのとおりである。 （懇話会メンバー）水質検査体験について、参加者に、「この取組を通じてどう思ったか」や「こういう取組を継続してもらいたい」などの意見は伺っているのか。聞いている場合は、参加者の意見を教えてもらいたい。 （企業局）水質検査体験のアンケートにおいて、取組についての意見を聞く項目は設定していないが、「自由意見」の項目は設定しており、その中で「水質検査体験をまた企画してほしい」、「また参加してみたい」といった意見がある。			

議事録

(懇話会メンバー) 水質検査体験で PFAS に言及しているのは、メディアで PFAS の検出が報じられた地域に住んでいる方なのか。

(企業局) PFAS の検出が報じられた地域以外に住んでいる方も、PFAS に言及していた。

(懇話会メンバー) 水質検査体験に 2 回、3 回と申し込む方がいるようだが、複数回申し込もうと思った理由は分かるか。

(企業局) 理由は聞いていないが、一度水質検査体験に参加したことにより満足し、もう一度参加してみたいと思った方が一定数いると考えられる。

(懇話会メンバー) 不安だという理由で複数回申し込んでいるわけではないということか。

(企業局) その可能性もないとは言えない。もしかしたら、中には定期的に自分の家の水の検査をやってみたいと思う方もいるかもしれない。それぞれがどのような理由で複数回申し込んでいるのかまでは把握していない。

(鎌田座長) 今回、応募人数が多く、予定よりも早く募集を打ち切られたということであり、可能であれば初めての方により広く体験していただくのも良いかと思うので、次回以降、検討いただきたい。

(懇話会メンバー) 水質センター見学会について、対応可能な人数が限られているため、参加できない方へのオンラインや疑似体験などの代替の取組は考えているのか。そのような間口を広げる取組があると良いと思う。

(企業局) 実際の浄水場の映像などを使った動画を作ったりと、現場に来ることができない方に少しでも水道についてご理解していただけるよう取り組んでいる。

(懇話会メンバー) 利き水について、水道水とミネラルウォーターをどれくらい識別できているのか興味がある。有意差の有無について、今後調べることを検討しているのか。

(企業局) 水道水とミネラルウォーターの違いを認識できているかということは重視しておらず、浄水器などを通さない水道水をそのまま飲む機会の提供の場として利き水を行っている。今後、有意差を知る必要があれば調べていきたい。

(懇話会メンバー) 水質検査体験について、資料 7 ページに「不安がある理由」の記載はあるが、満足度についても「不満に思う理由」を聞いているのか。

(企業局) 理由は聞いており、不満に思う理由の 1 番目は「おいしくないから」、2 番目は「安全性に不安があるから」である。

(懇話会メンバー) 水質検査体験のアンケートについて、検査実施後に水温や残塩、PFAS 等の影響により満足度が下がったと考察しているが、本当にそうなのかという意見もあるかと思う。後から解析できるようなアンケートを実施すると非常に役立つと思うので、検討してもらいたい。

(企業局) 参考にさせていただく。

資料(p.10)により、「オフィシャルサイト」について事務局から説明。

主な意見、質疑は以下のとおり。

(懇話会メンバー) 動画におけるろ過の箇所で、逆洗にかなりフォーカスしていたので、もう少しろ過自体に焦点を当てた方がよいと思った。テーブル実験の動画でもいので、

議事録

そういうものがあると、ろ過で水がきれいになることと、溜まった汚れを逆洗により排出することでろ過の機能を回復させることが伝わるといった。

(懇話会メンバー) ろ過施設の大きさが分からなかったもので、分かるような工夫があってもよいと思う。

(懇話会メンバー) ろ過の仕組みが詳しく載っている方が一般の方に伝わるといった。また、水源管理も、水道水の安全を考えるうえで重要ということもアピールした方がよいと思う。

(懇話会メンバー) 逆洗は一般の方には分かりにくいと思う。

(鎌田座長) 砂の層全体で汚れを捉えるから、逆洗を繰り返さないといけないというところの理解が難しいと思う。やはり、ろ過で除去できるものと砂のスケール感や、除去しきれないウイルスや細菌等は塩素で消毒するといった形の方が伝わるといった。是非検討いただければと思う。

(企業局) 分かりやすくなるように検討したいと思う。

(小松崎副座長) 小学生やお子さんは水がどうやって来ているか分からないと思うので、いきなり今回の動画を見ても多分理解できないと思う。「ポタリちゃんの大冒険」はすごく分かりやすく作られているので、それを見た上での今回の動画という段階を踏むのであれば、すごくいいのかなと思う。どういう目的で「ポタリちゃんの水道講座」を作っているのか。

(企業局) 浄水場に来られない方にも実際の浄水場の映像を使うことによって、より水道について理解を深めていただくという主旨で作っている。

○議題3 その他

資料(p. 11-15)により、「令和 8 年度以降の安全でおいしい水づくりについて」について事務局から説明。

主な意見、質疑は以下のとおり。

(懇話会メンバー) 今後の水質目標のところ、気候変動の影響で水源水質が変わってきているのではないかなと思う。気候変動の影響についてどれぐらい検討しているのか。

(企業局) 令和 4 年度まで残留塩素濃度が 0.56mg/L ぐらいでずっと毎年推移していたものが、令和 5 年度には 0.50mg/L と想定以上に下がったという事例があり、TOC などの水質項目との関連も調べたが、はっきり明確な関連が水温以外には見当たらなかったもので、温暖化により水温が年平均で 1℃上昇した影響が大きいのではないかと考えている。今後、気候変動に伴って、水温以外に水質も変化していく可能性もあると思うので、注視していきたいと考えている。

(懇話会メンバー) かび臭物質あたりも変化する可能性があると思われるので、引き続き検討をお願いしたい。

(鎌田座長) かび臭については、今年度京都ですごく高い値が出て、処理できないという話があった。気候変動によってかび臭が発生し、水道水に混入するとおいしさがかなり損なわれると思うので、水源の管理も含めて検討いただきたい。

(懇話会メンバー) PFAS について、県水だより 1 月号の水質特集がすごく分かりやすかった。局に直接、PFAS の件で問合せ等はあったのか。

議事録

(企業局) お客様からの問合せについては、昨年の4月の報道以降、何件か来るような状態で、当局では低い値であることを説明すると安心していただけた。そのような状況が続いていたが、県水だより1月号が出た辺りからパタリと問合せが来なくなり、非常に効果があったと考えている。

(鎌田座長) 水道水のおいしさと安全性のためにはそれなりのコストもかかるので、料金とトレードオフの関係になることは明らかである。これ以上頑張らなくてよいというのも1つの意見であるし、もっと頑張してほしいというのも意見かと思う。

PFASに関しては、令和8年4月から水質基準になることが決まっている。千葉県営水道の水道水の水源や浄水では暫定目標値よりも低いという状況なので、それほど心配する必要はないと思うが、国の動向を見ながら、また皆さんが意見を言う機会をいただきたいと思う。

令和8年度以降の水質目標については、今いただいた意見を踏まえて検討いただきたい。

「広報について」について事務局から説明。

主な意見、質疑は以下のとおり。

(鎌田座長) 県広報Xを見ると、県水だよりも5千件ぐらい閲覧されていて、多くの方が見ていることが分かる。

○その他の意見、質疑は以下のとおり

(懇話会メンバー) 残留塩素は平成18年度から右肩下がり、令和5年度は0.50mg/Lだが、これは平均値であって、最大値と最小値はどれぐらいなのか。あと、飲み水としての満足度が上昇していて、85%という値を示しているが、周りの県の状況はどうか。そういった比較も参考になるのではと思った。

(企業局) 1点目の残留塩素の濃度の範囲については、令和5年度は最小値が約0.3mg/L、最大値は約0.8mg/Lという濃度範囲であった。これが計画開始当初では、最大値は1を超え、最小値は約0.3mg/Lであり、濃度幅も取組を進めることによって収束してきている。

2点目の近隣事業体の満足度ですけれども、こちらは現在、資料がないため、調べた上で回答したいと思う。

(懇話会メンバー) 以前、真夏に浄・給水場から出る水の温度が30℃以上になっていると聞いたが、真冬は何℃ぐらいか。

(企業局) 1月、2月だと10℃未満となる。

(懇話会メンバー) マンションのような高架水槽を使っている家庭と、戸建てで水が直送の家庭だと水は違うのか。

(企業局) 高架水槽や受水槽のあるところだと、滞留することによって残留塩素が低くなることがあるので、違いがあるとすれば、残留塩素かと思う。

(小松崎副座長) 今回の水道水の試飲の結果を見ると、残留塩素濃度の0.1mg/Lの差はほぼないということ調べたかったのか。今回の試飲の目的は何か。

(企業局) 今回の試飲の目的については、残留塩素の令和8年度以降の目標について検討していくなかで、目標値案も含めた、様々な残留塩素濃度の水道水を実際に飲んで

議事録

いただいて、建設的な意見を得るところを狙いとして、やらせていただいた。

（鎌田座長）これ以上、残留塩素を低減する必要があるのかということに加えて、極端に濃度が高いところや低いところがなく、低いところで平準化していることも一つの目標になるかと思う。

（懇話会メンバー）水質検査体験の説明の中で、夏の水温や残留塩素の設定値によって満足度が少し変化したのではないかと推測しているが、夏と冬で同じ人がやることで何か変化が見えるのではないか。

（企業局）水温が低い冬では、夏とは違うアンケート結果になるかもしれないが、水質検査体験はお子様に夏休みの自由研究でもやっていただくことを目的として、夏に実施している。

（懇話会メンバー）当初の目標である 0.4mg/L と現在の目標である 0.5mg/L がどれくらい違うのか、自分の舌で確認したくて、前回の懇話会の後に水道水の試飲を提案させていただいた。貴重な体験であった。

（懇話会メンバー）動画を作成するのが 1 年に 1 回だと、小学生は学年が一つ上がってしまう。大変だと思うが、動画を作成するスパンをもう少し短くできないか。また、前回ポタリちゃんが動いてなかったのが、今回動いていたので良かったと思う。

（企業局）現在、自前で制作しているため、作業には時間がかかっている。いただいた意見を参考にしてなるべく頑張っていきたい。

○企業局長挨拶

○連絡事項・閉会

以上